

City Life NEWS

地域の出来事や暮らしに密着した情報を届けるニュースページが始まります。ネットには更新頻度の高い地域ニュースページがあります。ぜひアクセスしてください。



シティライフNEWS で検索

大阪府 68年ぶり人口減少 吹田5.2%増、箕面2.7%増、豊中1.3%増

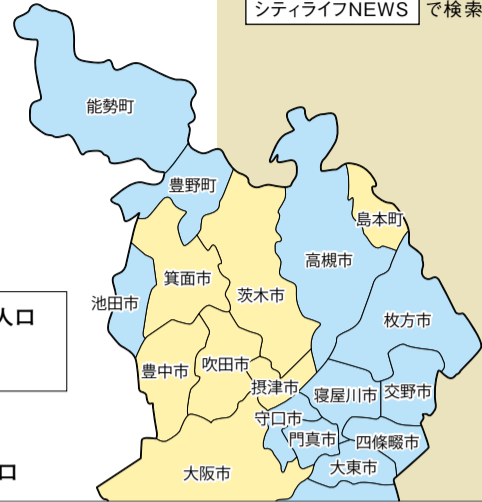
国勢調査(2015年10月1日実施)で、5年前と比べ大阪府内の人口が2万6337人減少したことが分かった。多くの大都市圏で人口流入が続く中、大阪府だけが終戦直後の1947年以来、68年ぶりにマイナスに転じた。

府内43市町村のうち**増加は10市町**のみで、そのうち**7市町が北大阪地区**。最も増加率が高いのは吹田の5.26%だった。他に豊中(+1.32%)、箕面(+2.71%)でも増加率が拡大傾向にあり、特に箕面は北大阪急行電鉄の延伸により今後も人口流入が続くと見られている。一方、守口や門真を含む北河内地域は2万2819

人減(-1.92%)と7市全てで減少。泉北地域や泉南地域でも減少が見られ、大阪北部に人口が集中する傾向が顕著となった。

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、2040年には府内の人口は15.9%減少の745万人になると予想されている。不動産会社による「関西で住みたい街」アンケートで常に上位に選ばれている吹田や豊中など北大阪の都市では、全国平均に比べ減少は緩やかと見られているものの、10年後には全自治体で人口減少が進むのは必至。子育て支援の拡充や共働き世帯の優遇など、施策の充実が急務である。

北大阪地区自治体の人口
この5年間で増加
この5年間で減少



大阪の主な自治体の人口

	人口	人口増減数	人口増減率(%)		人口	人口増減数	人口増減率(%)
大阪市	2691742	26428	0.99	岸和田市	194862	-4372	-2.19
豊中市	394495	5154	1.32	枚方市	403893	-4085	-1.00
池田市	103041	-1188	-1.14	八尾市	268562	-2898	-1.07
吹田市	374526	18728	5.26	泉佐野市	101025	224	0.22
高槻市	351831	-5528	-1.55	寝屋川市	237814	-390	-0.16
茨木市	280170	5348	1.95	河内長野市	107114	-5376	-4.78
箕面市	133418	3523	2.71	松原市	120697	-3897	-3.13
摂津市	85054	1334	1.59	大東市	122982	-4552	-3.57
島本町	29986	1051	3.63	柏原市	71276	-3497	-4.68
豊能町	19941	-2048	-9.31	羽曳野市	112695	-4986	-4.24
能勢町	10258	-1392	-11.95	門真市	122808	-7474	-5.74
泉大津市	75880	-1668	-2.15	四條畷市	56092	-1462	-2.54
堺市	839891	-2075	-0.25	交野市	76459	-1227	-1.58

※2015年10月国勢調査の速報値 ※人口比較は2010年より
※出典:「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)を加工して作成

LOCAL Vision

箕面市内の全ての公園203園に 防犯カメラを300台設置する計画

箕面市は、「全国で一番安全なまち」を目指し、2016年度末までに市内にある全ての公園203園に防犯カメラ300台を設置する。自治会からの要望に応えるもので、公園の規模や形状に応じて一つの公園に複数台を設置したり、「防犯カメラ設置」の看板を掲出するなど、箕面警察の助言を得ながら犯罪抑止効果を高めていく。

通学路のカメラで 年間犯罪 90件減

子育てしやすさ日本一」のスローガンを掲げる箕面市では、2015年2・3月にも、市立の小中学校の**全通学路に防犯カメラを設置**した。これは全国的に児童の連れ去り事件が頻発していたこと、また市内でも児童への声かけ事案が発生したことから、箕面市と箕面警察署が2014年8月に協定を結び、箕面警察の全面協力のもと、通学路の安全確保に取り組むことを決定した。台数は1学校区あたり平均50台で、通学路延べ42kmに750台を設置。約**60mに1台**の計算となり、全国でもトップクラスの設置となった。

設置当初は、地域住民からプライバシーの侵害を心配する苦情も寄せられた。しかし、住居の玄関や窓などを黒く塗りつぶす「プライバシーマスク機能」を活用したり、データの保存を1週間とし警察の捜

査にのみ情報提供を行うなど、プライバシーに配慮したカメラ運用を実施。ホームページやブログで防犯や安全への取り組みを随時公開するとともに、積極的な広報活動やメディア露出によって周知を行ったことで、住民の理解と協力が得られた。

また、カメラの設置場所については箕面警察署に設置された特別プロジェクトチームから、適切なアドバイスや情報提供がなされた。

カメラ映像は非常に高画質で、夜間でも鮮明に撮影することができる。箕面市市民安全政策室の奥田さんは「もともと箕面市の犯罪発生率は大阪府内では低い方ですが、さらに犯罪抑止と事件の早期解決の成果につながった」と話す。設置から数ヶ月後にはミニバイクに乗ったひたくり犯が**防犯カメラの映像をきっかけに逮捕**されている。複数台のカメラにミニバイクの形状や容疑者の服装、被害品などが鮮明に映っていたことが逮捕につながった。その他、ひたくりなどの街頭犯罪が1年間で約90件減少したほか、ひたくり等9件の事件が犯人逮捕に至った。

防犯カメラ設置 市が9割負担

さらに2015年度からの2年間は、自治会による防犯カメラ設置に対する補助金制度を拡充。

設置費はもとより、維持管理に必要な電気代も補助対象となり、費用の9割を箕面市が補助する。補助対象額の上限は20万円で、**全国でもトップクラスの費用補助**である。

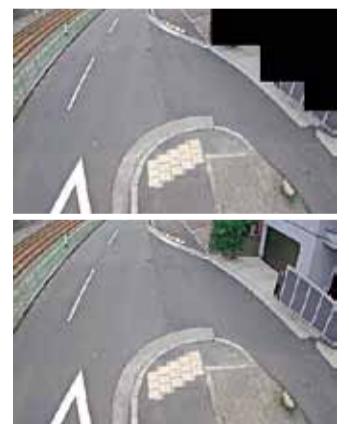
今回の自治会設置の防犯カメラに、前述した通学路の防犯カメラや市内公園に設置する防犯カメラを併せると、市内では合計1400台以上の防犯カメラが稼働することになる。子どもを持つ住民からは「防犯につながるので安心できる」という声も多数寄せられているようだ。大阪



府人口減のなか、箕面市は**子ども人口**(15歳未満)が2008年から**約14%増加**している。箕面市はより安全なまち、子育てしやすいまちへと発展している。



通学路に750台、公園に300台の設置となる。「防犯カメラ設置」の看板も設置し、犯罪抑止効果を高めている。



プライバシー保護の観点から住居の玄関や窓など特定の場所を黒く塗りつぶすプライバシーマスク機能を使用。※写真は特別に許可を得て撮影。

この記事のポイント

- ✓ 2016年末までに箕面市の公園全てに防犯カメラを設置
- ✓ 市立の小中学校の防犯カメラ設置密度は全国トップクラス
- ✓ 防犯カメラはプライバシーに配慮した機能を搭載
- ✓ 防犯カメラで犯罪の早期解決につながった
- ✓ 自治会の要望があれば箕面市は防犯カメラの設置費用の9割を負担※条件あり